

呉市手をつなぐ育成会

～6月号～

2026年(令和8年)6月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館3階

Tel(0823)24-2260

Fax(0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>

# 育成会だより



障がい児者を守り,その福祉の向上を図ることを目的とします。



『学級旗』



呉市立安浦中学校  
きらきら1組・2組



もくじ

6月・7月の予定

表紙 呉市立安浦中学校

P.2 「書きとめる」 会長 中川潤二

60周年記念式典・記念講演会ご案内

P.3 「呉市手をつなぐ育成会設立60周年を迎えて2」

副会長 井本 健一

P.4 ぼくの学級！わたしの学級！呉市立阿賀小学校

P.5 手をつなぎ生きる vol.36

「晴れの日を前に」 末政 千秋

P.6 本人活動報告 お礼 編集後記

6月6日(土)

いくせい太鼓 練習 (呉つばき会館)

6月21日(日)

本人部会会議10:00～(呉つばき会館)

うたう会 13:15～(呉つばき会館)

7月18日(土)

いくせい太鼓 練習 (呉つばき会館)

7月19日(日)

本人部会会議10:00～(呉つばき会館)

うたう会 13:15～(呉つばき会館)

★次回発行は8月1日合併号です。

呉市手をつなぐ育成会 60周年記念式典・記念講演会 6月20日(土)開催



# 「書きとめる」

会長 中川 潤二

定年後、呉市の嘱託として勤めることになって、書き始めた手帳が15冊になりました。スケジュール管理を自分できちんとするために始めました。始めは手のひらサイズのものでした。少し大きくなったのは、福井にある「橘曙覧(たちばなのあけみ)記念文学館」に行く機会があったからです。そこで「たのしみは 朝おきいでて 昨日まで 無かりし花の 咲ける見る時」という連作短歌「独楽吟」に出会い大好きになりました。一日の終わりに自分でも「たのしみは・・・」と考えるようになりました。それから毎日書きとめるようになり4000首以上詠んでいます。



古希を迎え、老化が進んで視力自体はまだ大丈夫で眼鏡もいらないのですが、字を細かくきちんと書くことが怪しくなってきました。頭に浮かんだことを書きとめるために、さっさと書いていて後で読み返そうとすると判読できないことが多々あるようになりました。さらに手帳を大きなサイズにして、300字ほどの日記の部分もゆとりができています。毎日最後の一行に「独楽吟」を落ち着いて考えるようにしています。

毎日の生活の中では、いろいろなことがあります。カーブが負けたとか、どこかの大統領の話は変だと勝手にテレビに腹を立てている自分がいます。切れやすくなってきています(前頭葉が老化しています)。こんな自分を情けなく思いながらも一日を落ち着いて思い起こし、ほんの少しの「たのしみは・・・」を見つけています。今は、鉢に植えたミカンの苗木の2mmくらいのアゲハの赤ちゃんの成長を日々眺めて書きとめています。

また日記には出来事の記録を書きとめるようにしています。後で役立つこともあります。数年前に亡くなった義母のこともずっと書きとめていました。介護のための手続きに私の記録も役立ちました。ケアマネージャーさんへの説明がしっかりできて、認定がスムーズでした。妻は介護に懸命で心が少し傷んでいたのですが、妻へもアドバイスがいただけました。義母にも静かに往生してもらえたと思います。

今、育成会も60周年記念誌をまとめています。何をやってきたかをまとめて記録し、残しておくことは本当に大事だと思います。協力していただいていることに感謝します。

※5月号の中川会長「気持を表す」の文中「星あかりの歌」は「星めぐりの歌」が正しい曲名でした。

**呉市手をつなぐ育成会 60周年記念式典・記念講演会**  
6月20日(土) 13:30~新日本造機ホール

藤森正彦様「たかがうんち、されどうんち」  
(呉市医師会病院 副院長 大腸肛門病センターセンター長)

**令和8年度 呉市手をつなぐ育成会総会**  
**記念祝賀会(懇親会)**  
6月20日(土) 16:30~呉森沢ホテル





前月号に引き続き、事務局より「60周年を迎えて」の続きの依頼を受けましたので、紙面をお借りして、60周年記念事業の意義について考えてみたいと思います。

今から20年前に40周年記念事業として記念誌を発行いたしました。その時も私が実行委員長を務めており、今回60周年で再度、実行委員長を務めることになり、組織の高齢化に正直、冷や汗を感じているところです。40周年以前にはそのような周年事業を実施した形跡は無く、資料集めに苦労した記憶があります。それより以前に、年1回発行されていた会報「きぼう」と数年前から発行されていた「育成会だより」が唯一の情報源でした。その次の50周年は40周年以降の10年を中心に資料をまとめ、今回も直近の10年間の資料を中心にしています。2001年以降は事務局のご努力により、「育成会だより」が継続的に発行され、活動の足跡をたどることができます。孔子の言葉に「温故知新」ということばがあります。故きを温めて新しきを知れば、以て師と為る可し。育成会の活動を次の世代に確実につなげていくためには、活動の歴史をきちんと理解し、将来活動のための情報を共有する必要があります。人はみな1年に一歳ずつ年を重ねていきますので、組織の新陳代謝は避けて通ることはできません。そうした時に10年ごとに発行される記念誌は、将来活動の方向性を確認する上で、貴重な資料になっていくことと思います。そうした思いで、今回の60周年記念誌も発行に向けてとりくんでまいりたいと思っております。

次に、60周年事業のもう一つの目的は育成会活動の本人、家族に向けた発信です。周年事業以外にも、様々なイベントを通じてこれまでも発信してまいりました。シンポジウムや講演会の開催をはじめ、呉市海上花火大会への招待などを通して、障害児・者本人やご家族の方に育成会の活動を知っていただくための多くのメッセージを送ってまいりました。毎月発行している「育成会だより」も、もちろんその一つです。ある日突然、自分の子供が知的障害や発達障害の診断を下されたとき、保護者の皆さんは相当なショックを受けられたことと思います。私もそうですが、なかなか自分の中で納得がいくまで、それなりの時間がかかり

ます。子供たちは保育所や学校で療育の指導を受けながら、育っていきませんが、それだけに甘えていてよいのでしょうか。子供の将来の可能性を開いていく鍵は保護者が握っているのです。本気でいろいろな情報に接し、子供の症状の改善に頑張れるのは保護者だけなのです。育成会では、行政、教育機関、事業者、医療機関をはじめあらゆる団体組織と連携しながら、最新の情報を共有していきます。本人、家族が自分のこととして、積極的に育成会活動に参加し、そこで新しいチャンスをぜひとも掴んでいただきたいと願っております。

また前回の記事にも書きましたが、近年の支援学級、支援学校の在籍者数の増加傾向はうなぎのぼりと言っていい状況です。就学前の段階で早く異変に気づき、早めの受診を受けることは大切なことで、これからも積極的に進めていくべきだと思えます。その結果として、障害児の数が増えているとすれば、ある意味実態に即したものと言えるでしょう。しかし、新生児の総数に対し、障害児の比率がもし上昇傾向にあるとすれば、どこにその原因があるのか、科学的に調査研究を進めることが必要と思われれます。一部の機関では、妊娠中の生活習慣や、分娩に伴う医療との関連性について、研究が進められています。より大掛かりな研究が期待されるところです。また、以前育成会でも発表しておりますが、一部医療機関においては、発達障害に関して、治療による改善効果が認められ、中には全快治癒したケースもあり、こうした情報も今後も会員の皆さんに情報提供をしてまいりたいと思います。育成会は60年を迎えましたが、まだまだやらなければいけない課題は山積しており、会員の皆さんと手をつないで、取り組んでまいりたいと思います。これまでも、行政、教育機関、各種団体の多くの皆様のご協力を得て、育成会活動を維持することができました。改めて、深く感謝の思いを伝えたいと思います。本当にありがとうございます。今回の60周年は一つの通過点として、障害をもつ人たちとともにより一層支えあい共生できる呉の町を目指し、そして一緒に悩み、寄り添い、未来に希望の持てる社会となるよう、会員の皆様や各機関との連帯の輪を広げてまいりたいと思います。

ぼくの学級！  
わたしの学級！

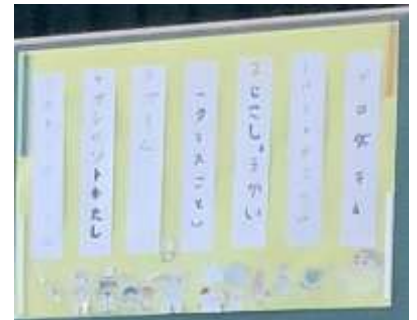
## 阿賀小学校 おおぞら学級



阿賀小学校のおおぞら学級は5クラスあり、30名が在籍しています。  
おおぞら学級の名前は、校区にある大空山の名前から付けられました。

4月25日(土)、今年度初めての参観日。おおぞら学級のみんなで「1年生さんとなかよくなろうね集会」をしました。おおぞら学級の児童全員が、プレゼント係、司会係、プログラム係、ゲーム係に分かれ、5人の1年生の児童と仲良くなることができ、喜んでもらえるように準備をしました。たくさんの保護者の皆さんが見ておられる中、緊張をした児童もいたようですが、とても楽しい会となりました。

みんなの前で紹介された1年生。ドキドキが伝わってきましたよ！



ゲームは、「風船バレー」と「ごろぴかどんゲーム」をしました。盛り上がりました！

クラスごとの紹介もしました。みんなで声をそろえて言えました！



「ねえ母さん、ねえ母さん」返事をする迄「ねえ母さん」。

母さんが居なくなったらどうなるんだろう、自分の気持ちを誰に話せるのだろう、この手記を書く事になり改めて考えさせられました。

思い起こせば49年前、無事に産まれたと喜び、笑ったとって喜び、泣いたとって喜び、それが徐々に歩きが遅い、言葉が出ないと悩み泣き、いじめられたと泣き、それでもなんとか今日まで過ごしてきました。

息子は助詞の使い方が難しく、誤解されたり無視されたりします。また自分の気持ちを話せなくなり分からないのに分かったように「ハイ」と言うからいつのまにか一人ぼっちが多くなっていきました。

高校を卒業したあと4年間一般就労をしました。この4年間は息子も私たち家族も辛い4年間でした。就職先での寮生活は食事ができなくなることもありました。仕事ができないと叱責されることもありました。そんなこともあり、元中学校の先生の助言で平成15年療育手帳を取得。呉園芸実習所で働きました。広島県障害者支援センターにも通い再就職。現在はビルックス(株)うずしお会館に勤務しています。

呉市手をつなぐ育成会との出会いは、市民センターにあった「育成会だより」。障害のある本人の活動のことを知りました。

息子はうたう会に参加する様になり、楽しそうに家へ帰っても仲間の名前や様子を話してくれるようになり会話もはずみ、とても喜んでいました。その後、ビルックス(株)に就職。バスで通勤できるうずしお会館での清掃の仕事に行く事になりました。

これまでのこともあり、どうなる事かと心配でしたが仕事が好きで土曜日・日曜日も休まず週4日頑張ってくれています。母としては日曜日やうたう会の仲間と会話を楽しんでほしいのですが、「僕は仕事に行く！」と言う息子…。これはこれで喜ばしい事なのだと思うことにしました。

私は育成会のご縁で近所に同じような障害の子を持つ家族と知り合いになりました。そのお母さんと「わたし達がおらんようになったら。この子が一人になったら…どうなるんか心配なんよ」と話し



ていたのですが、とうとうその日が来てしまいました。そのお母さんが脳梗塞になり入院されたのです。お姉さん達も結婚されており、一人で暮らすのは無理だろうと本人とお姉さんの話し合いの結果、自分からグループホームに入所するという事になりました。すごい決断だと思います。しかし本人の心を思うと切なくて心配で、これは人事ではありません。自分の息子がそうなった場合、自分で判断できるだろうか。日頃から、そういう話をしておかなければ…と思うのですがつつい時が過ぎてしまっています。

今年になり私の体調がすぐれず、これもチャンスと思い、何でも息子に頼むことにしました。用があれば伝えればやってくれるのですが、自分で考えて動くことはできません。考えて生活できなくては一人暮らしは無理ですし、話し相手がいなくては寂しいだろうし、と思うと悩みはつきません。

この度、息子は呉市手をつなぐ育成会より表彰を受けることになりました。会社の方も喜んでくださいました。私はこの表彰を糧に仕事も自分の身の回りのこともひとつずつできるようになってほしいと願っています。そして今は少しでもこの時を大切にしていこうと思っています。



# ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告

今日は6月20日にある総会の話をしました。私も参加できることになったので嬉しいです。育成会の60周年記念誌に載せるメッセージを書きました。よく書きました。

私は本人部会にいつも楽しく参加しています。みんなが自由に話しているのが特に好きです。私も話ができ嬉しいです。

午後は祝賀会で歌う曲も練習をしました。“森のくまさん”の輪唱も楽しかったです。【江口 孝子】



## ～いくせい太鼓 ステージ発表～

5月4日(月)呉ポートピアパークにて、2026呉子ども祭『はちやめちやわんだふる!』に参加しました。天候にも恵まれ今年は9人のメンバーで、「いくせいまつり太鼓」「みんなで踊る曲」「元気太鼓」「やまびこ太鼓」を披露。大きな声を出して、元気よくはつらつと太鼓を叩くことができました。ステージ発表終了後、呉子ども祭実行委員会より感謝状をいただきました。毎年このような素晴らしい発表の場をいただきありがとうございます。これからも頼常先生と共にメンバー全員で頑張っていきたいと思えます。【井村】

## ☆ありがとうございました☆

【順不同・敬称略】(5月15日現在)

ご寄附いただいた方

花岡 裕



サポート会員の皆さま

尾橋 幸男 尾橋 芳江 若野 文江  
田中 貞子 柏尾 真美 山口 弥生  
渡邊 亜希 中川 潤二

- 60周年記念式典・記念講演会  
6月20日(土)13時30分～【新日本造機ホール】
- 令和8年度  
呉市手をつなぐ育成会総会・祝賀会(懇親会)  
6月20日(土)16時30分～【呉森沢ホテル】

## 編集後記

今月号の「晴れの日を前に」の末政さんはうずしお会館で働く傍ら、アルミ缶のプルタブを集めて育成会に持参してくださっています。何か役に立ちたい!ビニール袋いっぱいにお持ちいただいたプルタブは日々コツコツと積み重ねてこられた宝物です。そんな地道な活動に感謝し、これからもご本人の思いに寄り添い続けていきたいと思えます。頂いたプルタブは本通小学校にお届けしています。

6月20日の「晴れの日」受賞される皆様、おめでとうございます!

私たちもとっても楽しみにしています。